

幸せを探しているあなたに

呪いの相続、はたして止めることはできるのか



ウッズの不倫、父親の相続？

12月17日にセックスキャンダルにもかかわらず、最近の10年間で最高の運動選手として選ばれたタイガー・ウッズ(アメリカ)の「15番目の恋人」として、ハリウッドスターのジェシカ・シムソンが登場した中で、タイガー・ウッズの父親のアール・ウッズも生前にたくさん浮気をし

ていたことが明らかになりました。ウッズの高校時代の恋人だったダイナ・パーは「イー！オンライン」(E!Online)とのインタビューで「ウッズがお父さんの浮気で、大きい傷を受けた」と明らかにしました。ウッズは、2006年に父親が亡くなったその時間にも、ラスベガスのナイトクラブのホステスを自分の家に呼び入れて、性関係を結びながら自分も同じように不倫を行って、復讐したということです。このような罪悪の相続は、ダグデイル(R. Dugdale)が書いたマックス・ジューク(Jukes)家の家系血統研究と、ジョンサン・エドワード牧師の200年間の家系を調べれば簡単に理解できます。この二人は1700年代、アメリカのニューイングランド地域でいっしょに育った町の友だちでした。あつい信仰人だったエドワードは、現在まで617人の子孫がいますが、大学の総長を過ごした人が12人、教授が75人、医師が60人、聖職者が100人、軍隊将校が75人、著述家が80人、弁護士が100人、判事が30人、公務員が80人、下院議員が3人、上院議員が1人、アメリカの副大統領を1人を輩出しました。反面、信仰というものがまったくなく、放蕩していたジュークは1292人の子孫がいますが、乳児の時に死亡した人が309人、職業的な乞食が310人、身体障害者が440人、売春婦が50人、泥棒が60人、殺人者が70人、ただなにもしない人が53人でした。ただ20人だけが、商売をしていたのですが、その中でも10人は監獄で習った技術で商売をしたということです。なぜこのように人間の不幸は、代々引き継がれて、絶えず繰

り返すのでしょうか。

不幸の根 聖書は、人間の不幸の根源を3つの罪のためだと明らかにしています。**最初に原罪です。**アダムとエバが神様を離れた以後、すべての人間に伝わってくる根源的な罪のことを言います。例えば、過去に奴隷の家に子どもが生まれれば、当然に奴隷になるのと同じことです。原罪は、神様を離れた罪で、自分も知らない間にサタンに捕われて、永遠にその影響を受けるしかない怖い罪です。願ってもいない呪いと偶像崇拜、法事、お守り、お祓い、占い、迷信、宗教などに陥って、苦難を受けて子孫三代、四代まで呪いの霊的な相続を残すようになります。**二番目に自分が犯す罪です。**原罪の結果で、人間に訪れてきた罪性と罪の欲求によって犯すようになる生きている中での罪です。**三番目に先祖の罪です。**家系に伝えられてきた偶像崇拜によって、子孫に災いを及ぼすしかない罪を言います。その結果、相続という言葉ができるほど、家系に流れるおかしな呪いと災いが伝えられるようになるのです。この人間の不幸の根である罪の問題は、どのようにすれば解決できるのでしょうか。

解決策 聖書は「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます」(ローマ人への手紙 5:8)と語っています。そして、神様を離れた人間の罪を解決するために、会う道を開いてくださいました(ヨハネの福音書 14:6)。人間に押し寄せてくる不幸と呪いの問題を解決して下さるために、十字架で私たちの罪の代わりに死んでくださいました(マルコの福音書 10:45)。そして、復活されることによって、罪の根本の根であるサタンの勢力を踏み砕いて、解放される道を開いてくださいました(ヨハネの手紙第一 3:8)。その道がまさにイエス・キリストです。イエス・キリストは、呪いの相続を完全に切ってしまう唯一の道です。

聖書的な 伝道企画

この世で最も価値があることがあるなら、呪いと滅びの中で死んでいく人を生かすことです。ダニエル記 12章 3節を見れば「...多くの者を義とした者は、世々限りなく、星のようになる」と言われてます。これがまさに伝道です。伝道は、私と私の仕事の中にキリストが毎日現れるようにすることで、他の人が神様が私とともにおられることを見て、生かされるようにすることです。今、地球の2/3が福音を聞けずいたり、違った福音を聞いています。それで、私たちは現場に入ってキャンプを通して、全世界で伝道システムを構築して、全世界を伝道して行くのです。それならば、どこから始めれば良いのでしょうか。

聖書にある重職者がしたこと 最初に、今から、少しずつ教会信徒を理解し始めなければなりません。教会の中にはどんな専門家がいるのか、新しい家族の中にはどんな人がいるのかを細かく調べなければなりません。このとき、最も重要な鍵(key)は、祈りの課題をすべて知ることができるほどにならないということです。初代教会は、祈りの課題が完全に通じました。二番目、講壇メッセージを握って、重職者が一つ一つ行政の方向を握っていくことです。このとき、教役者との関係をはじめ、すべてが回復するようになっています。三番目、一歩進んで、教役者の中で伝道する人に対する理解と分析をすることが、とても重要です。伝道する教役者を組織的に助けて後援しようというのが、重職者企画です。四番目、教会の中には、専門家が多くなります。この専門家を置いて、専門性を発掘する作業をしなければなりません。重職者が専門家の集いだけ作ってあげてもよいのです。これが地教会の開始です。集まって、何か力を得るようにさせてあげれば、揺れていた専門家が正しく立つようになって、伝道の門が開くようになります。五番目、最後にすることが、黄金漁場を分析することです。そうすれば、地教会で答えが出てくるようになっていきます。それで、すべての現場に弟子のシステムが構築されるように、ローマ 16章の働き人が起きて祝福を味わうようにすることが聖書的な重職者伝道企画です。伝道の門は、すべての祝福の門とともに開かれるようになっていきます。今がまさにその祝福を味わう絶好の機会です。こういう機会を神様がくださったのです。今から重職者は祈りの答え、みことば成就、伝道の働きを毎日、毎週、見つけて、かならずこの三つのことを考えなければなりません。これが重職者がしなければならない伝道企画の祝福です。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの中の五つの確信

- 1 救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16、Iヨハネ 5:10-13)
- 2 祈り答えの確信**：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信**：神様は聖霊であなただけにおられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27、箴言 3:5-6)
- 4 赦しの確信**：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信**：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31-37、Iヨハネ 5:4)

神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

たった一度の人生 24時の祝福を味わいなさい！

ただ福音、ただ伝道 どのようにすれば、家庭と現場と世界を生かすことができるのでしょうか。重要な事実は、私が変わらなければならないということです。どの程度、変われば良いのでしょうか。他の人が見て「この人は変わったなあ!」と感じるほど、家に帰ると犬が皆さんを見て、他の人が来たと思ってほえるほどに変わらなければなりません。どのようにすれば、このように変わることが可能なのでしょうか。神様は、私たちが福音の中にすべてがあるということを悟ることを願っておられます。これを認めない以上、個人が持っている霊的問題は解決することはできません。そして、福音を味わう方法を分からなければなりません。どんな問題がきても「イエスがキリスト、キリストがキリスト、キリストが私の主人」になるようにすることが、ただ福音です。目に見える24時のすべてのものを福音の目で見つめて、不信仰と動機を捨てる深い祈りに入るのが暗やみを打ち砕いて福音を味わう方法です。そうすれば、神様の時刻表を正しく見るようになります。福音の中にすべてがあるならば、私たちがすることがただ一つあります。ただ伝道がそれです。伝道とは、私の生活と仕事の中にキリストが毎日現れるようにすることです。そうすれば、パロ王がヨセフを見て「神様がヨセフとともにおられること」を見たように、他の人が見て分かるようになります。今でも地球上に正確な福音を聞けずにいる2/3にもなる人々に、福音を伝えに行くのが伝道です。この契約を握って、霊的な頂上(Top)に上がれば、答えの座、成功の座、勝利の座に立つようになります。この時から、未来経済、レムナント経済、伝道と宣教のために隠された経済を味わう唯一性の答えが来始めます。

24時、私の人生計画 皆さんが成功しようとする前に、内容があることを握って、機会をのがさなければ、だれにでも祝福が備えられていて、結果は必ず来ます。荒野に行くイスラエルの民に、なぜ幕屋を作りなさいとおっしゃったのでしょうか。福音がなくては、結局は滅びようになっているためです。それで、福音をのがさないで次世代に伝達するほどの幕屋を作りなさいということです。もう一つの理由は、荒野にいる間、最高の生活を送りなさいということです。いくら難しい中でも、聖なる欲望を持って今日を生かしなさいということです。結局、カナンの地に行かなければならず、その地でメシヤに会わなければならず、そこで世界福音化をしなければならぬためです。このような契約があるから、幕屋を作りなさいと言われたのです。今日、全国、世界にいるすべての学生たちは、ただ福音、ただ勉強を握って、神様が与えられる今の機会をのがしてはいけません。すべての既成世代は一つとなって、次世代を生かす契約を握らなければなりません。それで、真の福音を味わうように、真実なことを分かるように、今からその徳を高め、その人の益となるようにする私の人生計画、人生図表を作らなければなりません。今日、神様が私にくださった祈りは何であり、みことばは何であり、伝道は何であるのかを考えなければなりません。特に、事に会ったら、祈りの答えが何であり、みことば成就が何であり、伝道に関することが何なのかだけ見れば良いのです。このようにしていれば、ある日、伝道の門が開いて、経済、産業、学業の門が開きます。祈り、みことば、伝道をいつも考えて、24時祈っていれば、まちがいなく、唯一性の答えが来るようになります。私たちの人生の信条は、すべての人を生かして、すべての場所、すべてのことを祝福されるようにすることです。特に、今日を生かして、今日の祝福を味わいながら神様に栄光をささげなければなりません。「神様、私たちに機会をのがさない信仰を与えてください。新しく始めることができるように、挑戦する信仰をください。何も無い者ですが、神様の力で勝利する恵みの祈りを始めさせてください」

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

28日(月) 2千年間失っていたこと
(使徒 2:41-42)

イエスを信じる人1人だけいても、職場を生かすことができます。それで、私たちは至急に3つのことを捜し出すべきです。行く現場ごとに弟子を探して立てて、はじめから終わりまで、講壇のみことばを正しく受けて伝えるながら、私に与えられた職分の祝福を見つけて味わうとき、毎日毎日、伝道の祝福が現れるようになります。

29日(火) 正確な診断 (マタイ 9:35~38)

問題の中で正確な事実を見ようとするなら、今日を未来と連結させて、やって来る未来を今日に操り上げて見る伝道者の時刻表を分らなければなりません。そして、毎日、祈りの中で伝道に対する考えとみことばを抱いて、みことばが成就する祝福と聖霊の満ちし、インマヌエルを味わう真の感謝と幸せが沸き出なければなりません。

30日(水) 神様の計画 (使徒 1:8)

神様は私たちがこれから地域と国を責任をもって福音運動を担って出て行く弟子を探して立てることを望んでおられます。私を生かす興業、他の人を生かす興業、現場を生かす興業である真の伝道の祝福を毎日の生活の中で24時祈りを通して引継き味わえば良いのです。

31日(木) 生涯の祈りの課題 (マタイ 6:31~34)

神様が望んでおられるのは、福音を悟って神様との関係を味わいながら答えを受けることです。私たちとともにおられるインマヌエルの祝福で、すべての状況を答えに連結して、伝道のための祈りを始めれば、神様はすべてのことを答えてくださいます。

1日(金) 重要なことを見た人々 (使徒 8:1~8)

初代教会は、イエス様の公生涯と十字架の死、復活、聖霊の働き、そして、福音を防ぐサタンの働きと、福音を持った働き人を用いられる神様の計画を見ました。それで、いつもインマヌエルと聖霊の導きを味わって、神様が準備された未来を見ました。

2日(土) 成り立つ祈り (エペソ 6:18)

福音をずっと聞けば、霊的な事実が悟れ、神様の計画が見られるようになります。そうすれば、福音を味わうようになって、この時から祈りも成り立つようになります。神様の子どもは、神様と24時間通じるから、祈りが成り立てば、世の中を征服することができます。

週間メッセージ

産業宣教：重職者伝道企画 (1) - 信徒の理解 (ピリピ 1:6)

伝道学：教会問題は どうしなればなりませんか (サムエル 3:1-18)

核心訓練：サタンは今も活動しています (使 13:6-12)

聖日1部：幕屋 (出 26:1-14)

聖日2部：その徳を高め、その人の益となるようにしなさい (ローマ 15:1-13)



どこか 部屋はないですか？

イラスト_ユン・スルギ

居住の自由は、人間が味わう基本的な価値だ。人であるならば、だれでも、いつの時でも、自分が暮らしたいところに移って通うことは自由だ。韓国では、おもに春に、子どもたちが他の地方に進学したり、職場を移す時、短期間ならばホテルや旅館を捜すが、期間が長くなる時は、やむをえず家を求めたり、部屋を探すようになる。

神様を離れた人生は、運命、すなわち生年月日による運勢に縛られるようになるので、自分が住みたいところを探して住居の自由を味わうことができない。必ず悪霊が指定する所に行って暮らさなければならない、決まった生活を送るのに、それを運命と言う。もし、その位置を離れて方向を自分で決める時、その人には精神と身体上の損害が必ず起きる。

私たちの町にサッカーが好きなヨンチョルという高校生がいる。背が高くスマートで、目鼻立ちがよくて、女学生に好かれる、そのような子だ。この子に、ある日から夜ごと悪夢をみるようになり、金縛りにあって、横腹がずきずきと痛み始めるようになった。よく通っていた学校も行けないほどになったのだ。病院に行ってみても、すっきりした病名が出てこなかった。周辺の事物に恐れを感じるようになって、仲がよかった父親がわけもなく怖く思えるので、家庭生活に危機が感じられるようになった。結局、引っ越したのが良くなかったらしいといって、あげくのはてに、弟と父親は住んでいる所で暮らして、異常な症状を感じる長男と母親は、ワンルームをかりて別の所帯で暮らそうという決断をくだすようになった。それくらい、家庭が分離する生活にまでなったのである。

土地と家と部屋を紹介する不動産を探して、私たちの教会の信徒と出会った。「どこか部屋はないですか？」と尋ねる彼らに、なぜ冬に部屋を捜すのかと尋ねた。このようなことだと聞いた後、信徒は、そういう理由のためならば、あえて引っ越しをしなくても良いと言いながら、福音を伝えた。人生が神様を離れたので、引越ししても問題で、しなくても問

題がくるが、福音を受けてイエス様をキリストとして受け入れて神様の子どもになれば、サタンがもたらす呪いの力から解放されると話したのだ。イエス様を受け入れた後には、どこに行っても大丈夫だと聞いた母親は心が明るくなるのを感じた。「この話を私の息子に伝えてくれませんか」信徒は母親の頼みを受けて、ついて行って息子にイエスがキリストという福音を伝えた。ヨンチョルは、イエス様をキリストとして受け入れるようになって、真の自由がその家にくるようになった。

知って見たら、その家におばあさんが信心が深い方で、子どもや孫たちのために祈っている祈りの家だった。子どもと孫の無限の祝福のために、健康と幸せを願い、成就のために明け方ごとに祈るおばあさんの愛の尽力は、結局、悪霊に向かった願いだったので、子孫に自由が来たのではなく、苦しみと霊的問題で迫ってきたのだ。道を知らなかったので、あきらめる結果がもたらされた献身を見て、私たちは現場の苦しみを確認する。苦しむヨンチョルが、家族が引っ越しを間違っただけで体験した痛みは、事実、普通の人が一般的に体験する多様な問題の一部分だ。

イエス様がこの世に救いの道として来られたが、その道を行かない人生は、今、人生の黄金期のような高速道路を行っているとしても、目的地は苦みの終着駅だ。かえってイエス様は私たちに尋ねられる。「どこか部屋はないですか？」悪霊は、その部屋で危機を与えるが、キリストはその部屋でヨンチョルに与えたように、真の自由をくれる。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ